

カンキツ ‘不知火’へのシクワシャーの根接ぎが生育,収量 および果実品質に及ぼす影響

誌名	九州農業研究
ISSN	04511581
著者名	榊,英雄 藤田,賢輔 北園,邦弥 磯部,暁 満田,実
発行元	九州農業試験研究機関協議会
巻/号	66号
掲載ページ	p. 239-239
発行年月	2004年5月

農林水産省 農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター
Tsukuba Business-Academia Cooperation Support Center, Agriculture, Forestry and Fisheries Research Council
Secretariat



カンキツ‘不知火’へのシクワシャーの根接ぎが生育、収量および果実品質に及ぼす影響

榊 英雄・藤田賢輔・北園邦弥¹⁾・磯部 暁・満田 実²⁾
 (熊本県農業研究センター果樹研究所・¹⁾熊本県農政部・²⁾熊本県立農業大学校)

Hideo Sakaki, Kensuke Fujita, Kuniya Kitazono, Akira Isobe and Minoru Mitsuta :
 Effect of Grafting ‘Sikuwasya’ Root on Tree Growth, Yield and Fruit Quality in Citrus Cultivar ‘Siranui’

カンキツ‘不知火’は、県内で栽培面積が急速に増加しているが、露地栽培において樹勢低下に伴う収量の減少や果実品質の低下が問題となっている。

そこで、強勢台木である‘シクワシャー’をカラタチ台‘不知火’に根接ぎし、生育、収量および果実品質に及ぼす効果を検討し結果が得られたので報告する。

1. 材料および方法

1997年4月23日1年生カラタチ台‘不知火’に‘シクワシャー’をカラタチ台部と幹部に根接ぎした。また、対照として‘カラタチ’を1本および2本幹部に根接ぎした。根接ぎ後、ルートラップに植え、ガラス室で育苗し、1998年4月16日に2m間隔で4樹ずつ定植した。植え付け時および毎年2～3月に幹周、樹高、樹冠容積を調査した。1999年から着果させ、収量、品質を調査した。2002年4月に各処理区1樹ずつを地上部と地下部に分け解体調査した。なお、管理は当所の慣行法で行った。

2. 結果および考察

幹周、樹冠容積は、生育年次を経るに従い、シクワシャーの根接ぎがカラタチ台に比べ大きくなった。

シクワシャーの根接ぎ法では、主幹部への直接根接ぎと台木部への間接根接ぎとに差はなかった（第1表）。

樹の生育では、シクワシャーの根接ぎは、地上部の枝および葉の増加はもちろん、地下部の細根、小根および中根の増加が大きかった。

収量はシクワシャーの根接ぎで多く、カラタチ台との樹冠拡大の差が収量の差となった（第2表）。

シクワシャーの根接ぎでは、糖度（Brix）はカラタチ台と差はなく、クエン酸はやや低い傾向にあった（第2表）。

以上のことから、シクワシャーの根接ぎは、樹勢強化（幹周、樹冠容積）、収量増加に大きく寄与するものと考えられた。

第1表 幹周および樹冠容積の推移（1998～2002年）

処 理 区	幹 周 (cm)					樹 冠 容 積 (m ³)				
	1998	1999	2000	2001	2002	1998	1999	2000	2001	2002
シクワシャー主幹部接ぎ	8.74	12.29	16.58	20.10	24.50	0.30	0.73	1.58	1.95	5.14
シクワシャー台木部接ぎ	7.83	11.43	15.80	19.45	23.20	0.17	0.62	1.73	2.30	5.07
カラタチ主幹部接ぎ（1本）	8.35	10.20	13.18	15.53	18.10	0.28	0.51	1.05	1.23	2.95
カラタチ主幹部接ぎ（2本）	8.23	10.44	12.88	15.00	16.95	0.26	0.59	1.15	1.39	2.73
無 処 理	7.74	10.39	13.18	15.63	18.10	0.24	0.60	1.24	1.45	3.83

第2表 収量および果実品質

処 理 区	収 量 (kg)					4 年 累積収量	糖 度 ^{b)}		酸 度 (%)	
	2000	2001	2002	2003 ^{a)}	2000		2001	2000	2001	
シクワシャー主幹部接ぎ	3.68	6.14	17.95	20.66	48.43	14.3	14.6	1.12	0.94	
シクワシャー台木部接ぎ	3.99	9.11	25.04	11.28	49.42	14.5	15.0	1.16	1.05	
カラタチ主幹部接ぎ（1本）	2.57	3.85	13.16	14.65	34.23	14.5	14.8	1.34	1.16	
カラタチ主幹部接ぎ（2本）	2.62	4.02	11.83	10.69	29.16	14.6	15.0	1.49	1.04	
無 処 理	2.94	5.35	13.74	6.46	28.49	15.2	14.3	1.21	1.14	

注) a) 2003年の収量は、解体調査したため2樹の平均値。

b) 糖度はBrix。